

第72回定時株主総会後に実施した記者会見の概要について

1. 日 時 2024年6月26日（水）11時00分～11時20分

2. 出席者

建設記者会（4社）

・北海道通信社、北海道建設新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊建設工業新聞社

3. 概要

和泉社長が別添資料「株主総会を終えて」により説明後、質疑を行った。

4. 質疑

（問）増収増益の好決算となった要因は。

（答）前払金保証の実績が大きく伸びたことが要因であり、北海道新幹線の工事实績に加え、自治体発注工事（札幌市の駒岡清掃工場の更新事業、美唄市の病院建替工事、中富良野町の小中学校改築工事、稚内市の庁舎建設工事など）やその他発注者の工事（西いぶり広域連合の新中間処理施設建設工事）における大型工事の実績が牽引している。

また、昨今の株高の影響もあり運用益も好調であったことも相まって、収益増に繋がっている。

（問）国の保証実績が5%程度減少している要因は。

（答）5月末に北海道開発局の工事管理課がまとめた令和6年3月末現在の工事契約実施状況においても、開発局の発注自体が9.5%程度減少しており、当社の保証実績も減少している状況であった。一時的とは思われるが下水道工事等の外部委託工事の影響も想定される。また、人件費と資材価格が高騰している中、発注自体が減少するようであれば道内の地方建設業への影響も懸念されるため、いずれにしても注視が必要であると思っている。

（問）新たな担い手確保助成事業について、前回と異なる点などはあるか

（答）萌志会（留萌）の高校生向けSTEAM体験事業、宗谷建設青年会（稚内）の小中学生を対象とした建設業PR事業、空知経営研究会（岩見沢）の協会会員企業の若手・中堅職員を対象とした研修会など、3事業が新たに追加されている。特に昨年実施した全道建青会との意見交換会では、各地区において入職者や中途採用者の定着が問題となっていたことから、その問題に係る支援について提案できる幅を広げて募集をかけた結果、空知からの提案に繋がっている。

また、高校生に対する資格取得支援では普通科高校にも助成対象を広げるべく、教育庁から当社の助成事業について通知を出してもらっている。

なお、コンストラクション甲子園についても全道的に開催されると聞いているので、昨年同様に当社としても金銭的な支援だけではなく、人的支援も継続したいと考えている。

以 上

2024年6月26日

株主総会を終えて

1. 本日の株主総会の議決権行使株主は総株主数 328 名中、205 名、議決権 80 万株にしめる割合は 86.2%でした。
(前年：株主数 329 名中、議決権行使 216 名。議決権に占める割合は 87.4%)
 2. 株主総会では、当社第 72 期（2023 年度）計算書類が承認されました。
第 72 期決算は、前期比増収増益となりました。
前払金保証の保証料は 9.8%増、契約保証の保証料は 44.6%増で、合計した収入保証料は、17.3%増の 16 億 7,359 万円（※）となりました。
保証事故は前払金保証、契約保証ともに発生しませんでした。
営業外収益、特別利益、特別損失を合算した純利益は、82.7%増の 6 億 9,935 万円となりました。
※当社では第 70 期から「収益認識に関する会計基準」を適用しております。
 3. 役員人事では、取締役は改選期ではありませんが、坂 敏弘氏、齊藤 勝氏の取締役 2 名が辞任し、新たに玉木勝美氏、高田芳政氏、高橋雅樹氏の 3 名が取締役に選任されました。
監査役は改選期であり、監査役 2 名が任期満了となり、仲谷達雄氏が退任し、新たに松原 密氏が選任され、中田孔幸氏が再任されました。
-
4. 株主総会後の第 305 回取締役会では、新たな取締役である高橋取締役が総務企画部長に委嘱されました。
人事異動については、資料に記載のとおりとなりました。
 5. 2024 年度保証取扱見通しのうち、前払金保証対象請負金額については、前年度補正予算を含む公共事業費等から 5%増加と推定していること、又、重点事項である中間前払金保証の目標利用率は、前期に引き続き 15%に設定していることを説明しました。

2024. 6. 26

2024年6月26日付の人事異動について

北海道建設業信用保証株式会社

2024年6月26日付の人事異動について、お知らせいたします。

氏名	新	現
松原 密	常任監査役	理事 総務企画部長
高橋 雅樹	取締役総務企画部長	業務部長（兼） 情報システム室長
松田 雅睦	業務部長（兼） 情報システム室長	業務部部長

以上